



2018年新年のご挨拶

シドニー総領事/JCS名誉会長 竹若敬三

JCS会長 水越有史郎

Matsuri Japan Festival 2017、過去最高の人出！

創立35周年記念イベント第一弾「キャンベラ日帰りバスツアー」催行

2018年東日本大震災復興支援イベント“TSU-NA-GU” 3月11日(日)に開催

クリーンアップ・オーストラリア 3月4日(日)レーンコープパークに集合

JCS創立35周年企画「保坂JCS創立者に聞く」

親睦の会『新年会』は2月10日

JCS35

1983 ▶ 2018 創立35周年

2018年東日本大震災復興支援イベント～TSU-NA-GU～開催

2011年の東日本大震災発生以降、毎年シドニーで開催されてきた3月11日の東日本大震災復興支援イベントが、今年もシドニーノース地区にて開催される。

震災発生時刻の黙祷、仙台から来る東北大学生達による被災地の現状プレゼンテーション、福島県南相馬市のドキュメンタリー映画上映、被災地の伝統文化紹介、東北の珍しい郷土料理試食販売、地酒テイastingなど、内容盛り沢山ですので是非足をお運びください。

日時:2018年3月11日(日)15:30～18:30

会場:Crows Nest Centre(2 Ernest Place, Crows Nest)

入場:無料

内容:浄土真宗本願寺派渡部住職による黙祷、和太鼓りんどう演奏、新極真会空手演舞、東北大学生達の現状報告、ドキュメンタリー映画「MARCH」上映、歌、東北郷土料理と地酒紹介、郷土工芸品販売、等

主催:JCSレインボープロジェクト

協賛:東京マート、REN Club、Ippin Australia、ArtLab、豪州かりゆし会、Soramame、ふくしま会

お問い合わせ:sydneyrainbows@gmail.com

※東北地方出身の方で震災関連(ストーリー、郷土料理、工芸品、本など)の紹介をされたい方はご連絡ください。
※イベント演目は予告なしに変更される場合があります。
※経費を除くイベント収益はJCSレインボープロジェクトに寄付されます。 www.jcsrainbow.com



クリーン・アップ・オーストラリア 3月4日(日) レーンコーブ・ナショナル・パークに集まろう!



クリーン・アップ・オーストラリアが3月4日(日)に行なわれます。この日は、オーストラリア全国一斉に公園や浜辺をきれいにする日で、オーストラリア最大のボランティア活動です。公園を散歩がてら、周りのゴミを拾ってみませんか。年に一度のイベントは誰もが気軽に参加できます。この機会に是非会員の皆様のご協力をお願いします。今回もシドニー日本人会の皆さんと一緒に参加することになりました。ゴミを拾った後に、BBQをしたり、お弁当持参でピクニックを楽しもうと思います。ごぞってご参加ください。BBQは有料ですが、会が負担します。

日時:3月4日(日)9:00～11:00(BBQは11:00～予定)

場所:レーンコーブ・ナショナル・パーク

用意するもの:手袋、帽子、日焼け止め、サングラス等

(BBQに参加されない方は各自の食べ物・飲み物)

※通常、公園内は車の場合入場料が必要ですが、入り口でJapan Club of Sydneyの会員として、クリーン・アップ・オーストラリアに参加する旨をお伝えいただければ無料になります。

尚、JCS以外の団体や、その他の地域で独自にクリーン・アップ・オーストラリアにご参加なされたい方は、サイトをご参照ください。 www.cleanup.com.au

2月3日(土) JCS日本語学校三校が新年度始業式(City校、Dandus校、Edgecliff校)

2月3日(土) シドニーソーラン踊り隊が練習初め(2pm@Cammeray Public School)

2月7日(木) 2018年第1回理事会を開催(7pm@Dougherty Community Centre)

2月8日(木) 教育支援委員会を開催(10am@North Ryde RSL Club)

2月10日(土) 親睦の会が新年会を開催(12:15pm@Dougherty Community Centre)



■表紙の絵

2018年、明けましておめでとうございます!

今年の干支は、戌。じゃれあう仔犬の柴犬を墨絵にしてみました。墨の滲みによる表現で、明るい薄茶色の仔犬の短いけれど柔らかい毛並みを感じて頂けたらうれしいです。今年も皆様にとって良い一年となりますよう…。(鴨粕弘美)

【作者プロフィール】シドニー在住。2007年から永淵博子氏に墨絵を師事。2003年、NSW州立美術館コミュニティー・アンバサダーの研修修了。以降、同美術館にて日本語ガイドボランティア活動を続け、仲間と共に本誌連載コラム「Let'sアート」の記事寄稿もしている。



2018年新年のご挨拶



シドニー日本クラブ名誉会長
在シドニー日本国総領事 竹若 敬三

新年あけましておめでとうございます。一昨年、シドニーに着任して以来、シドニー日本クラブ(JCS)の皆様には大変お世話になっており、心から御礼申し上げます。当地では、さまざまな分野で日本の存在感が高く、永年ご活躍されてきた方々にも多くお会いすることができました。日本に対する尊敬の念に意を強くするとともに、皆様のご尽力に敬服する次第です。

さて、2017年を振り返ると、多くのことがありました。

日豪通商協定署名60周年を迎えた年であり、1月の安倍総理の豪州訪問に始まり、日豪間の「特別な戦略的パートナーシップ」の深化のため、様々な分野において、活発な交流が行われました。

ベレジクリアンNSW州首相は、大変親日的であり、就任後、初の外遊先として8月に日本を訪問され、西シドニーに対する日本からの投資を呼びかけました。文化交流、スポーツ交流、観光等を通じて日本の存在感はますます高まっており、「ラグビーワールドカップ2019」や「2020東京オリンピック・パラリンピック」に対しては、豪州から強い関心が示されています。

JCSは、1983年に創立され、本年は、創立35周年という記念すべき年を迎えました。この35年間、様々な懇親活動、広報活動及び文化・教育活動等の実績とこれまで設立・運営・経営等に携わってこられた方々に対し、改めて感謝の念と敬意を表したいと思います。

昨年12月にダーリングハーバーで開催された「祭り Japan Festival」では、JCSの皆様が献身的にご活躍され、5万人以上が参加し、多様な催し物があり、日本の魅力が発信され、終日大変な盛況でした。日本に関心を持つ地元の老若男女、永住の邦人、短期滞在の邦人等が一体となって楽しめ、さらには、日本人コミュニティの存在感を発揮する非常に有意義な行事でした。

NSW州の日本人コミュニティは3万人を超え、当地の治安状況は、統計上特段悪化していませんが、依然として強盗、空き巣、スリ等の一般犯罪は頻繁に発生しています。また、豪州政府が定めるテロ警戒レベルは、5段階中3番目に当たる「Probable」(おこりうる)となっており、特にイスラム過激派によるテロ攻撃は現実的な脅威となっております。総領事館としましては、一層の安全確保を呼びかけていきたいと考えます。

最後に、本年がJCSの皆様にとって実り多き年となるよう、また、日豪両国にとって更なる発展の年となるようお願いしつつ、年初のご挨拶とさせていただきます。



シドニー日本クラブ会長
水越有史郎

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年もみなさんが元気に毎日を過ごされることを願っています。

2018年はシドニー日本クラブが設立されてから35年という節目の年です。そこで今年は35周年記念事業をいくつか実施していきます。(本誌発行時にはすでに実施されていますが)第一弾として、キャンベラの日本大使公邸などを訪問する日帰りバスツアーを行います。また、9月のChatswoodでの祭りに加え、6月にParramattaでも祭りを開催します。これはシドニー西部でも多くのオーストラリア人に喜ばれる日本文化の紹介をしたいとの思いからです。

日本クラブでは、35年前の1983年5月31日に行った公園(Centennial Park)での会員初顔合わせのピクニックが会の創立記念日となっています。当時の会員数は、62家族、168人でした。まだまだ日本人の方も少なく、日本から遠く離れたここシドニーで、日本人同士がお互いに協力し合い、親睦を深めて充実した生活を送ることを目的に、私たちの日本クラブが設立されました。

今日ではオーストラリアはもちろん、日本も、そして私たちの暮らしも、シドニーの日系コミュニティも大きく変化を遂げてきました。当時の顔を合わせての交流と情報の交換には、新天地での生活に向けて非常に大きな意味と必要性がありましたが、その後の日本人移住者の傾向や社会環境の変化、とりわけインターネットの普及は私たちの生活環境を大きく変えてしまいました。

当初の主要な目的であった情報交換は、今日のインターネットやSNSの発達により、個人が至極簡単に多くの方と瞬時につながることができ、わざわざ何かの組織に属する必要がなくなってきました。また、その組織にしても、これらのツールを通じて、手軽に同好の仲間によるグループ(組織)ができるようになり、いまでは数多くの日本人によるコミュニティグループがシドニーに存在しています。

このような中、日本クラブはいまでもシドニー最大の日系コミュニティ団体として、また地元社会に根を下ろすエスニックコミュニティとして活動を展開しています。高齢者向けの活動をはじめ、日本語学校を通じて継承日本語を子どもたちに伝え、東日本大震災復興支援活動などのチャリティー活動や、日本文化紹介のお祭りを催しています。

私たちのクラブの存在意義を改めて確認し、これからも活動を展開していきたいと思っております。会員の皆さんも積極的に会に働きかけて頂き、ともに楽しい会を作り上げていきましょう。よろしくお願い致します。

Matsuri Japan Festival 2017、過去最高の人出

2017年の日本の祭りが12月9日(土)、いつもの会場のTumbalong Park(ダーリングハーバー)で催されました。晴天に恵まれ多くの観客が集まりましたが、今年は延べ5万人と、過去最高の人出があったようです。かなりの暑さの中、みなさんステージパフォーマンスや食べ物屋台、出展ブースを楽しまれました。

JCSもブースを出店して、恒例の浴衣の販売と金魚すくいのゲームを行いました。今年は浴衣のほかに中古の着物も販売しました。金魚すくいは相変わらず大人気で、子どもはもちろん大人も楽しむ姿が見られました。

また、JCSではこのお祭りを後援していますが、祭り全体の運営にも、役員を中心にボランティアでお手伝いをしています。もちろんJCSのクラブ活動であるJCS Hula Aloha Hawaiian Groupや、シドニーソーラン踊り隊がステージ出演を行ったり、会員の方が参加している盆踊りやバンド演奏など、JCS挙げて日本の祭りを盛り上げています。今年初めて、会場に盆踊りの櫓が設置されましたが、その櫓では渡部副会長が太鼓を叩き、観客も一緒に参加して盆踊りを踊りました。



35周年記念キャンベラ日帰りバスツアー

JCS創立35周年を記念する第一弾企画、「キャンベラ日帰りバスツアー」が1月20日(土)に25人の参加者とともに催行されました。朝6時45分にセントラル駅に集まった一行は7時に一路キャンベラに向けて出発。10時半前には大使公邸に到着し、出迎えて下さった片江学巳(かたえ・たかし)臨時代理大使ご夫妻始め大使館員の皆様より心のこもったモーニングティーを振舞って頂きました。しばしの歓談の後、邸内や庭園を拝見し、最後に集合写真を撮って公邸を後にしました。続いて、オーストラリア国会議事堂内を拝観した後、クラウンプラザホテルの「レッドソルト」レストランにて昼食。最後に戦争記念館を訪れ、シドニー湾で引き上げられた特殊潜航艇などを観て回った後、3時には帰途に着きました。丁度、ターンブル首相の訪日のため日本に帰国されていた草賀純男大使ご夫妻にはお会いできませんでしたが、大変有意義な時間を会員の皆様と共に過ごすことができたツアーでした。



挨拶される片江臨時代理大使(左)と水越会長 国会議事堂ではチャーカー相談役が案内してくれました

ランチはホテルで



片江臨時代理大使ご夫妻と一緒に記念撮影するツアー参加者



戦争記念館を見学(上・下・右上)



国会議事堂前で記念撮影(下)



JCS創立35周年に当たって 保坂佳秀シドニー日本クラブ創立者に聞く

35周年と言われて、頭の中を創立当時のJCSの歩みが、走馬灯のように流れます。

1980年、47歳で初めてシドニー空港に降り立ち、50歳の時に、それまでに知り合った日本人に声をかけて、Spit Junctionに日本レストランを開店準備中の植松さんをお願いをして新年会を催しました。

集まった約20人の方とJICAシドニー事務所長の長谷川さんの協力を得て、会則、役員選出を行い、5月に総領事館にJCS設立の報告を行い、正式に承認を頂きました。

最初の行事は、日本の戸籍法が父系主義から父母両系主義に改正されたので、特に国際結婚をされている日本人女性には重要なことなので、サーキュラー近くのフライング・エンジェル教会で、総領事館より講師をお願いして説明会を開催しました。会の後、場所をセントニアル・パークに移して、最初のピクニックを行いました。

高校生だった娘が54歳になり、日本語学校のボランティアなどしているのを見ると、今更ながらジェネレーションが一回りしたことを実感します。

白豪主義から多文化主義への転換、有数な福祉国家への発展、まれに見る長期経済発展など、この間のオー

ストラリアの変化にも、目まぐるしいものがあります。

JCSは、シドニーにおける日本人定住者の会として、日本を代表する組織になっています。会員相互の親睦、助け合いはもとより、同じ地に生活を共にする色々な人々との友好、親善も大切です。

近年は日本食ブームで、寿司やラーメンが極く日常の食事として多くの人に供されています。また、日本文化に対する関心も、確実に広がっています。

こうしたことは日本に対する関心、好意につながり、私たちの生活環境をより良いものにしてきています。有難いことです。

これらのことを踏まえて、オーストラリアの基本である、公平、寛容、ボランティア精神を忘れずに、コミュニティーの一員として、心豊かな生活を目指そうではありませんか。



総領事表彰受賞の保坂夫妻(2016)

JCS創立会長 保坂佳秀

12月の理事会

日時:12月6日(水)18時~21時

場所:Dougherty Community Centre, Chatswood

出席:八重樫領事、Chalker、水越、藤田、光岡、林、Costello、渡部、斉藤(親睦の会)

※会議に先立ち、祭り販売する、浴衣、着物の仕分け、値段付け作業を行った。

1. 忘年会の報告

78名が集い賑やかな夕べで皆さんに楽しんでもらえた。ビュッフェ方式で戸惑う人もいたが、食事も美味しく十分な量があった。出演者も多く、招待客、参加者にとっても喜んでくれた。「昭和浪漫」のテーマについての周知がされればもっと楽しめたのでは？来年の35周年記念の忘年会でも、もう一度「鱒屋」を検討したい。ラッフルの売り上げもよかったが、もっと大きな目玉賞品が欲しかった。

2. 日本語学校報告

●City校:10クラス、生徒数155人、117家族

10月21日にオープンデーを行い、37名の生徒が新・編入学を決定。来年は、キャメレイ校に入学待ちの生徒がかなりいるため11クラス編成の予定から10クラス編成に変更をした。11月11日は、委員・サポート係選を行い無事来年の運営体制を整えた。12月9日は、Y12の生徒2名の卒業式&終業式を行う。借りている現地校の引っ越しが年内に行われ、仮校舎にて来年から日本語学校が行われる。ニック校長の計いで今の日本語学校の荷物を現地校が新校舎に移し教室の一角に置かせてくれることになった。コピー機に関しても現地校のものを使用させてもらうため、詳細を詰めている。来年の契約更新は、無事終了した。

●Dundas校:10クラス、生徒数109人、78家族

10月28日、11月4日の2週に渡るオープンデー、体験授業後に来年23名の入学が決定した。現在9名から退学届を受け取っており、来年度は123名となる予定。加えて来年度初日にオープンデーに参加できなかった入学希望者1名の体験授業を行う予定。11月11日、ダンダス校単独研修会及びクラス編成を行った。11月18日TC会議を行い、来年度の椋山女学園の受け入れが決定した。CLSサティフィケートを対象生徒に授与、今年は現地校で何名か表彰してもらえた。11月26日のJCS忘年会にはダンダス校から役員3名、先生4名(当日1人欠席)が参加。11月28日、水越会長とダンダス現地校を訪れ、来年度の借用校契約更新を行った。また、12月9日のお楽しみ会で借用するホールの鍵の受け取り、設備の説明を受けた。お楽しみ会にはイベント係を中心に最終調整中。

●Edgecliff校:2クラス、生徒数26名、26家族

現在生徒数は、幼児部17人(男子6人、女子11人)と小学部9人(男子4人、女子5人)の合計26人。12月9日に終業式とお楽しみ会を行い、今年度の学校が終了する。お楽しみ会には保護者が一丸となって準備を行った。幼児

部の子どもたちは授業で劇の発表会のため、練習に励んでいる。2018年の新年度より、クラスが3クラスとなり合計36人の規模になる。一方でnon-backgroundの子どもたちを対象にした国際クラスも開設予定。国際クラスはまだ3人の入学予定だが、日本語クラスに子どもを通わせる保護者の中には、自分の子どもと日本語で話したくて、国際クラスへの入学を検討している方がいる。国際クラスはあくまでも子どもが対象だが、子どもたちへの日本語学習機会の提供と、親との意思疎通を継承日本語を通じて行うという趣旨から、保護者の方に日本語学習の意味を理解して頂くためにも、特例として保護者の入学も許可する方針。このことが家庭での日本語によるコミュニケーションの深化につながれば嬉しい。

3. Matsuri Japan Festivalについて

12月9日(土)に開催される祭りのJCS担当部分の最終確認を行った。各理事の担当も役割分担表を見て確認し、万全を期す。人数が限られているため、会計を別にするTシャツ販売は、信頼できるボランティアに委任。浴衣販売は盆踊り前に終了する。

4. JCS創立35周年記念事業

●第一弾 日本大使公邸訪問キャンベラ日帰りバスツアー
日時2018年1月20日(土) セントラル 駅前7:00発 / 同19:00帰着予定

内容:10:30頃に大使公邸表敬訪問&モーニングティー / 昼食(市内のホテル内レストラン) / 国会議事堂&戦争記念博物館の見学 / 15:00頃にシドニーに向け出発
料金:大人140ドル / 子供(Y9以下)80ドル(ただし半額をJCSが負担)⇒大人70ドル / 子供40ドル

12月29日までに申し込みをし、支払いを済ませる。

5. DOE(デューク オブ エジンバラ)について

DOEのJCSでのユニット設立について、レインボープロジェクトの今後の方向性をはっきりと打ち出した上で、DOEユニット設立の必要性につき検討していく。

6. SSIから表彰を受ける

難民や障害者の支援団体SSI(Settlement Services International)から、「Acknowledging your work towards diversity and inclusion」の表彰を受けた。(12月5日)

当クラブが、多様化している現在の社会にあって、広く身障者にも行事への参加を呼びかけたことが高く評価され、今回の受賞となった。(本誌9ページ参照)

7. その他

○会員世帯数 335世帯(一般114、学校221世帯)

○次回理事会 2018年2月7日(水)午後7時~



JCSコミュニティーネット

福祉情報サイト : <http://www37.atwiki.jp/carenetsydney>



アングリケア・ディサービス 「シニアのおしゃべりサロン」 今回は、1月31日(水)

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャツウッドからの送迎バスがあります。なお、参加ご希望の方は1800-200-422へおかけになり、「Anglicare Services LonguevilleのSocial Club」に参加されたい旨をお伝えになり、事前の登録をお済ませください。「Japanese please!」と言うと日本語通訳へもつなげてもらえます。

また、ウェブサイトwww.myagedcare.gov.auでの登録も可能です。

人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。

(事前申し込み必須)

開催日: 1月31日(2月からは、毎月第4水曜日開催です)

時間: 午前10:30～午後2:30

会場: アングリケア・デイセンター(ロンガヴィル)

Christina & Arabella Streets の角、Longueville 2066

無料送迎バス: MOSAIC前(12 Brown Street, Chatswood)

午前10時出発(時間厳守)

参加費: \$ 20(和食弁当、お茶菓子含む)

活動内容: 歌、ラジオ体操、古典文学、川柳、アート等

申込先: jcscommunitynet@gmail.com(京子まで)

スポーツ天国 SPORTS



111

冬季オリンピック

2月9日から韓国の平昌で冬季オリンピックが開催されます。

オーストラリアは、今までどれくらいのメダルを冬季オリンピックで獲得したかご存知ですか? 金5個、銀3個、銅4個の合計12個です。(ちなみに日本は、金10個、銀17個、銅18個です。)

前回のソチ大会では、金ナシ、銀2個、銅1個でした。(日本は、金1個、銀4個、銅3個でした。)

夏の大会もですが、日本とオーストラリアは、メダルが期待される種目が微妙に違って、テレビをつけても、日豪両選手がそろって映るチャンスが少ないのですが、今回はどうなるのか、楽しみです。(ぴか)

※会員の皆さんからの情報も受け付けています。

Eメールは、kenerit@gmail.comです。

よろしくお願いします。(ぴか)

親睦の会 だより

皆さんの地区幹事

- ・A地区 (North Sydney以南) 加藤真理 (Tel: 0405-235-365)
Email: marikato777@gmail.com
- ・B地区 (Chatswood以東) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- ・C地区 (St.Ives以北) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長・会計: リヒター幸子、幹事: 加藤真理、ピアス康子、事務局: 齊藤直子
ボランティア: 朝比奈富美子、橋本克子、村田智富子 (五十音順)

会員募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。現在の会員数約90名。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

■2018年2月例会のお知らせ

【新年会】

■日時: 2018年2月10日(土) 12:15~14:45

■会場: The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

1月23日(火)迄に、地区担当者まで出席連絡と、おせち御膳の個数のご連絡をお願いします。尚、お手数ですが、欠席の場合もご連絡下さいますよう、よろしくお願ひします。(各地区の連絡先は、このページの冒頭をご参照ください。)

■会費: 会員\$5 / 非会員\$7 (緑茶・コーヒー・紅茶代込)

新年会ですので、日本酒・ワインも振る舞います。

■お食事代: 会員\$38、非会員\$50

お食事は、レストランで頂くと60ドル以上相当の2段重ねおせち御膳、お吸い物付き。差額は、お年玉として親睦の会が負担します。

2段重ねのお重は、そのままお持ち帰りになれます。ビニール袋もご用意します。

和やかに新春を祝し、元気の糧となるような楽しいゲーム等々で、賑々しく盛り上がりましょう。当日は、在シドニー日本国総領事、商工会議所会頭、JCS会長もご臨席されます。

【お知らせ】

■日野原重明先生によって設立された財団、ライフ・プランニング・センターの「会報」を、例会場の古本市テーブルの上に置いてあります。どうぞ自由にご一読ください。日野原先生がご生前【「ありがとう」という言葉で、人生を締めくくりたいものです】とおっしゃった追悼の小冊子もあります。

■今年から、親睦の会の幹事としてピアス康子さんがお手伝いして下さいます。康子さん、どうぞよろしくお願いいたします。

■古本市テーブルには、新たに多数のDVDを置きました。古本同様、DVDもお求めください。万が一映らない場合は、返金または違うDVDに交換します。ご不要になった古本やDVDのご寄贈もよろしくお願いいたします。販売収益金は、親睦の会の運営に有り難く使わせていただきます。



祭り Japan Festival 2017

12月9日、晴天に恵まれた日本の祭りが、ダーリング・ハーバー会場で約5万人の来場客を迎え賑々しく行われました。親睦の会の役員は「浴衣・着物の古着」販売にも精を出し、日頃の練習の成果を発揮してフラダンスや踊りを披露した会員達も大いに楽しみました。飲食の屋台では、長い列が連なり、日本食が好物のオージーの多さを実感しました。8時間に渡るお祭りのフィナーレでは、国籍、肌の色に拘わらず、主催者も観客も一丸となって盆踊りを踊りました。平和に包まれ、心も躍った一日でした。

クラブライフ



2017年の日本祭りで踊り納め！2018年はCNYで踊り初め！

シドニー最大の日本の祭り「Matsuri Japan Festival 2017」では踊り隊も元気いっぱい踊りました！今年は2回の出演で、最後は盆踊りを観客と一緒に踊って踊り納めとなりました。

今年は2月のチャイニーズ・ニュー・イヤー（CNY）のイベントが踊り初めとなります。みなさん応援よろしくお祈りします。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと元気に踊っています。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時～3時
参加ご希望の方は、Email: jcs.soran@gmail.comまでご連絡ください。
<http://sydney.soran.wix.com/dancetroupe>



フラダンスを踊りませんか？

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、シドニーにフラダンスの会として発足して6年になります。

体を動かす気持ちの良さを感じながら、明るく楽しく美しく、健康をモットーに和気あいあいと踊っています。

(写真は2017年の日本の祭りの舞台)

興味のある方は是非、見学にいらして下さい。

年齢は問いません。

練習日：第4・第4火曜日午前11時～12時

場所：Dougherty Community Centre Annex, Chatswood

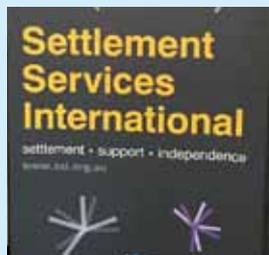
お問い合わせは真理まで。電話：0405-235-365



シドニー日本クラブがNPO団体SSIより多文化コミュニティへの貢献が認められ、表彰されました！

難民や障害者の支援団体「Settlement Services International (SSI)」は、2017年12月5日、シドニー西郊バンクスタウンにある同団体のオフィスで、多文化コミュニティへの貢献を行った団体への表彰式を開催し、シドニー日本クラブが「インクルージョン・アンド・コミュニティ・アプリケーション・アワード」を受賞しました。

当日、JCSから渡部重信副会長が出席。当クラブが2017年7月にオーバンで開催したJCSフェイトや、同年9月の「祭りジャパン・フェスティバル・イン・ウィロビー」で障害を持つ人へのサポート・スペースを提供し、日系コミュニティでの障害についての意識・関心を高める試みを行ったことが評価されての今回の受賞となりました。



(写真上) SSI最高執行責任者のスティーブン・オニール氏より記念の盾を受け取る渡部副会長

(写真左) 左から川島浩子氏 (SSI)、渡部重信副会長、スティーブ・ゴラブ氏 (SSI)

JCS日本語学校シティ校
JCS Japanese School



学校 Ultimo Public School
(177 Wattle Streets, Glebe NSW 2037)
連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話:0452-141-618
授業 毎週土曜日/幼児部:9:30~12:10、小学部:9:30~12:15
Email student.city@jcs.org.au
Web http://cityschool.japanclubofsydney.org/

皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今学期からUltimo Public Schoolの新校舎設立までWentworth Park内にある仮校舎で日本語学校を行います。今年も元気いっぱいの新・編入生が入学し、在校生とともに活気にあふれた始業式からスタートしました。

昨年12月9日に行われた大変素晴らしかった卒業式、終業式の様子をご紹介します。

4歳から通い続けた加藤夕奈さん、コストロシュボンさんが卒業をしました。卒業生2人のスピーチは、今までのそれぞれの思いが語られ会場に大きな感動を与え参列していた教員、在校生、そして多くの保護者が涙を流していました。2人は、時には、日本語を難しく感じ、日本語学校を辞めたいと思った辛い時期もあったようですが、担任の先生や保護者のサポートによって乗り越えられたことの感謝を述べ、在校生にも頑張



卒業生(左:加藤夕奈さん、右:コストロシュボンさん)

って日本語を続けて欲しいと伝えていました。多くの皆さんに12年生まで頑張って日本語を勉強していただきたいですね。



水越会長(左端)と、担任の朝倉先生(後列右端)に囲まれている泰山木組の生徒たち



年間皆勤賞受賞者の子どもたち



ミニスターズアワード受賞者(左:ダウニージャック君、中央:三島明君)

終業式では、各クラスがとても素晴らしく発表をしてくれました。生徒達の成長が感じられとても心なむひとときでした。



ユーカリ組『トトロさんとおさんぽ』
歌・お遊戯



さつき組『クレヨンからの手紙』歌・発表



くすみ組『はらぺこあおむし』
歌・お遊戯



泰山木組『HEY! IT'S TAISANBOKU★』ダンス



ひのき組『大きなかぶ』劇



あすなろ組『小さな世界』歌・お遊戯



かりん組『かりん組のクリスマス』
ミュージカル



もみじ組『サイエンスショー』



うめ組『うめ組の一日』劇



もも組『詩の朗読「春夏秋冬」』

JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 電話:0411-734-819

授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com

Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>



クラス紹介 虹組

虹組はダundas校で下から3番目のクラスで2017年度はYKからY2の女子5人男子8人のクラスでした。

私のクラスでは毎年家族の絵を描いてくる事を最初の宿題にしています。その絵を見せながら前に出てきて家族について話をする事が恒例です。この虹組でもしてみましたが、「え～やだ」、「やりたくないよ～！」という事で数人しか発表しませんでした。日本語は理解できているし、話すこともほぼできていても、自分では「できない！」と思っている子が多く、なかなか発表してみようという気持ちにも繋がりませんでした。

2学期の校内発表会でも小さな声で少し発表するだけだが精一杯の生徒がほとんど。あの手この手でやってみてもすぐに脱線する子たちに、どうしたら楽しく日本語を学べて、年末までにクラスの目標である清音以外のひらがな言葉の読み書きの習得ができるのかをアシスタントの先生と一緒に悩みながら取り組みました。

4学期になっても、伸び悩んでいる生徒が半数。これでは年末を迎えられないと思い、今まで習ったねじれる音や詰まる音が入った言葉を何度も繰り返したり、宿題にして覚えてもらったりしました。そして、毎週、簡単なテストを行うことを伝えると、意外にも子どもはテストが好きようで、元々できていた子は家庭で復習してくるのでさらに日本語能力が伸びていき、伸び悩んでいた子も、その子のペースで少しずつ伸びて行きました。「すごいね、やっぱりやればできるね。その調子！」などと声をかけて行くとキラリと光るいい表情を見せてくれる子がたくさん出てきました。

最終日のお楽しみ会では、人前での発表にとっても苦手意識を持っていた子たちとは思えないほど、楽しく歌と踊りを披露してくれました。

来年度もそれぞれのペースで楽しく日本語学習を続けてもらいたいと願っています。

(担任: サマツちづる)

ダundas校お楽しみ会

皆様、あけましておめでとうございます。子ども達がとても楽しみにしていた夏休みもあっという間に終わりに近づき、もうすぐ新学期が始まります。夏休み中はご家族揃って有意義な時間を過ごされたことと思います。日本へ一時帰国された方、旅行を楽しまれた方、いつもよりも長いお休みなので日本語の復習を頑張ったお子さんも多いかもしれませんね。

さて、新学期を前に昨年12月9日に行われたお楽しみ会を振り返りたいと思います。ダundas校では毎年最終週に一年のまとめとして、お楽しみ会を開催しています。先生方は生徒達のために素敵な出し物を考えてくださり、練習にも時間を割き、生徒達も一生懸命練習してきました。保護者の方々もお家での練習のお手伝い、映像の編集や衣装の準備など、みんな一丸となって作り上げているお楽しみ会でした。

最年少クラスのととても可愛い太陽組から、最年長の大河組まで、10クラスの子も達が歌やダンス、ことわざやアンケート調査の発表など、どのクラスも保護者の私たちの方が驚くほどの素敵な発表をしてくれました。一番最後の出し物の大河組のミュージックベルの発表では、短い練習期間とは思えないほどとても素晴らしい演奏でした。さすがみんなの憧れのお兄さん、お姉さんの最年長クラスです。今年のお楽しみ会も、涙あり、笑いあり、生徒達の一年間の成長が感じられるとても感動の発表ばかりでした。

2018年もダundas校ではたくさんの新入生を迎え、色々な行事が目白押しです。また、今年で無事10年目を迎えることになりました。これも地域の皆様、JCSをサポートして下さっている方々、先生方、保護者の皆様のおかげです。今年のお楽しみ会も、子どもたちの素敵な笑顔がいっぱいの一年にしていきたいと思いますので、今まで同様、ご支援、ご協力を受け賜りますよう、よろしく願い致します。



虹組のクラス紹介は、歌とダンス「秘伝ラーメン体操」

JCS日本語学校エッジクリフ校
JCS Japanese School Edgecliff



学校 Ascham School
 (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)
 連絡先 電話:0412-283-393
 授業 毎週土曜日/14:00~16:35
 Email jcs.edgecliff@gmail.com
 Web http://edgecliff.japanclubofsydney.org

終業式とお楽しみ会

昨年12月9日、2017年度最後の授業と、終業式とお楽しみ会を行いました。この日で4学期、36週の1年間が無事終了しました。特に2017年から立ち上げた幼児部のきのこ組は、全員が新生児としてスタートしましたが、みな最後まで楽しく日本語を学んでくれました。

きのこ組ではクラス発表会として、『あわてんぼうのサンタクロース』の劇発表をしました。幼児部でストーリーのある劇を発表するのはかなり難易度の高いチャレンジでしたが、子どもたちは本当によく頑張ってくれました！

続く終業式では、きのこ組のうのみさきちゃんが年間皆勤賞で表彰されました。(写真右)

お楽しみ会では、保護者の皆様に料理を一品持ち寄っていただい



たほか、親子で浴衣や甚平を着てもらい、楽しい夏祭りの雰囲気の花を添えていただきました。また、保護者のお父さんがサンタクロースに扮して、絵本の読み聞かせや クリスマスプレゼントを渡してもらいました。子どもたちはヨーヨー釣りやスイカ割り、福笑いなどを楽しんで、2017年度の日本語学校を終えました。



サンタクロースによる絵本の読み聞かせ



きのこ組のクラス発表会は『あわてんぼうのサンタクロース』



終業式で子どもたちと保護者、先生、ボランティアスタッフみんなで記念撮影

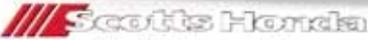
ALL-NEW
CIVIC
HATCH



HONDA



新型CIVICハッチ登場!

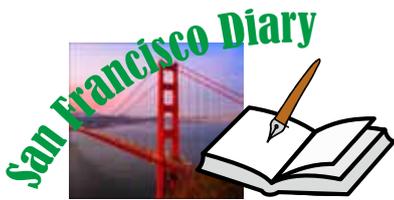


Scotts Honda
 291 Pacific Highway, Artarmon
 ~Scottshonda.com.au
 ~(02) 9431 2333



Hornsby Honda
 160 Pacific Highway, Hornsby
 ~Hornsbyhonda.com.au
 ~(02) 9472 2100

詳しくは日本語でお気軽にお問合せ下さい。 japandesk@scottsgroup.com.au



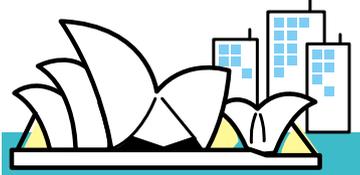
気温差激しいサンフランシスコ

サンフランシスコは一日を通して四季が感じられるように気温差が激しくよく霧が発生します。霧のため飛行機が遅れることもしばしばあるほどです。私が住んでいるダンビルはイーストベイエリアにあり、山に囲まれているので夏は大変暑く40度を超えることもあります。そんな時でもサンフランシスコはだいぶ涼しいです。どんなに暑い時でも上着を持っている人を見かけたらその人はサンフランシスコから来た人だ、というジョークがあるくらいです。写真は8月24日の気温です。ダンビルは38度ありますがサンフランシスコは17度しかありません。ちなみに東京は30度でシドニーは15度でした。ダンビルは真夏日の気温ですがサンフランシスコと冬のシドニーの気温に大差ないとは信じがたいものです。



新連載

シドニー スケッチ



最近Surry HillsのBourke Streetには、オシャレな新しいcafeが沢山できています。先日も新しいcafeに行くために通りを歩いていると？一風変わったお店があり、立ち止まりました。Zen Station Tea Houseと看板があり、カウンターでカクテルを作るような手捌きで、オーナーがお客さんに中国式のお茶を入れていました！初めて見る！面白い(^-^)



オーガニック・アップル ビネガー

色んな健康食品が巷でよくブームになる。緑茶とかプーアル茶、ルイボス茶などお茶系からオリーブオイルやココナツオイル、青汁、ゴジジュース、カスピ海ヨーグルト、様々なサプリメント、などなど。私も一部の健康食品をある程度試してみたが、言われるような効果はなかったように思う。まあ、身体に悪くはないと思ったけど、目に見える変化は無かった、というか。でもアップルビネガーのダイエット効果は違った！2週間位でお腹周りの脂肪がかなり減ってスカートやパンツのサイズが一つ下に。と言っても、割とレギュラーに運動したり、炭水化物を控え目にしたり、という他の努力との相乗効果と思うけど。ダイエット以外にも、消化不良を助けたり体内の健康なpHバランスを保ったり、と色々良いことがあるらしい。アップルビネガーはこれからも毎日のみ続けていくつもりである。(さかな)

お知らせ

MOSAIC日本語カルチャー教室

Willoughby Council運営のマルチカルチャーセンターMOSAIC(12 Brown Street, Chatswood)では、日本人のためのカルチャー教室が開かれています(地域外の方でも参加できます)。

タイチー(太極拳)クラス: 毎週水曜日2時半から、24式、48式を日本人講師から毎回20人程度の女性(平均年齢75歳?)が楽しんでます。最近男性も増えつつありますので、ぜひお気軽にご参加を！参加費はたったの2ドル、終わったあとは爽快な気分です。



日本料理教室: 奇数月の第三水曜日10時半～12時まで日本人講師のもと日本料理教室が開かれています。毎回15名ほどの参加で、費用は実費12ドルのみ。ご参加希望の方はご予約をどうぞ！



MOSAIC センターでは、Japanese Social Groupの活動のほかにも各種英語教室や趣味の教室が開かれていますので、一度訪ねられたらいかがでしょうか？

■申し込み先

MOSAIC日本ソーシャルグループ(Japanese Social Group)

担当: 榎本正弘 携帯: 0422-019-930

Email: fairgo6007@hotmail.com

担当: 雅子グライム 携帯: 0422-576-990

Email: makog7989@gmail.com

メラリと光る

あの人・この人

上田大介さん

弁護士
H & H Lawyers

上田大介さんは、本誌に連載中の「法律Q&A 弁護士に聞いてみよう」でもお馴染みの林由紀夫主任弁護士率いるH & H Lawyersにお勤めの弁護士さんです。

上田さんは今でこそ、英語圏で問題なく生活し、弁護士として働いていますが、高校時代は英語が嫌いで、全く勉強しなかったそうです。高校生活3年間を通じて、英語で赤点を取らなかったことがたったの3回しかないといった具合で、そのせいもあって、大学受験にも失敗してしまいました。受験浪人として嫌々英語を勉強していた時期に、ご家族と一緒に人生で初めての海外、ニュージーランドに旅行したのが転機となりました。そこで接したKiwiたちが皆フレンドリーで積極的に上田さんとコミュニケーションを取ろうとしてくれたそうです。そこで、「どうやら自分が嫌いなのは受験英語なのであって、コミュニケーションの手段としての英語は意外と面白いのかも知れない」ということに気がつきました。その後ご両親の勧めもあってニュージーランドに語学留学をすることになり、日本であれほど苦労した英語の勉強が全く嘘のように、瞬く間に英語圏の大学に問題なく入れる程度の語学力を身に付けることができたということです。経営学、特に旅行業や飲食業などのホスピタリティの分野に興味があったので、そうしたことを教えている大学に入学するために来豪しました。無事、大学を卒業した後は当初の希望通りホスピタリティ業界に進みました。

シドニーの5つ星ホテルでの下積みから始まり、ルームサービス、レストランでのウェイター、スーパーバイザーと順調に進み、やがて同ホテルの米国テキサス支店にマネージャー候補として異動することになりました。赴任先のテキサスでソムリエ試験に合格してからは、ソムリエ寄りの仕事につくようになりました。

その後、遠距離恋愛を続けていた彼女との結婚のためにシドニーに戻って来てからは、ホテルを離れ、シドニーのレストラン業界でマネージャーやソムリエとして経験を積み始めました。



人物紹介
第70回

上田さんの趣味と特技は？「法律の勉強は半分仕事で半分趣味です。法律についての興味は尽きる事はありません。特技は、ワインテイスティングと、ワインについての蘊蓄を頼まれもしないのに延々と語ること」

それまでホスピタリティ業界で生きてきた上田さんが弁護士を目指したのは、ある大きな事件がきっかけになりました。

シドニーの飲食店で働くうちに、上田さんには「将来一緒に自分達の店を持とう」という熱い情熱を分かち合える大親友ができていました。ところがその親友と彼の奥様が、ある日突然、交通事故で亡くなってしまったのです。このビジネスパートナーでもあった親友は、レストラン業界で生きる上田さんにとって、欠けてはならない存在だったのです。

事故の連絡を受けた双方のご両親が日本からやってきました。ご両親方は英語が分からず、オーストラリアの法律や文化についての知識もありませんでした。途方に暮れたご両親方を親身になって助けたのは、在シドニー日本総領事館の職員と、日本人弁護士の方々でした。そのおかげで死後の手続きは滞りなく行われ、遺族は深い悲しみの中、しかし総領事館の方々日本人弁護士たちに対し心からの感謝を表しつつ、オーストラリアを後にしました。

上田さんは言います。「私はというと、総領事館と弁護士の仕事に対してただただ尊敬の念を抱きました。そして同時に、人間は生きている間は勿論、死してなお法律に縛られるということ、そして法律を学ぶ必要性について深く考えるようになりました」。親友を亡くされ、レストラン業界での仕事を続けていくことに迷いを感じていた折でもあり、思い切って人生の舵を切り、法律家を目指す決心をしたということです。

新年の抱負を伺うと、「今年も、来年も、たぶん再来年も抱負は同じです。法律家として、常に学び続け、法的問題を解決し、多くの人の助けになりたいです」。

(インタビュー 桔梗)



シドニーには日本の企業が支店や現地法人を設立していますが、日本政府関係機関も事務所を構えて、オーストラリア人に対して日本文化の紹介や、観光や貿易の促進活動を行っています。シドニーに暮らす私たちには、普段、なかなか知ることのない日本の政府関係機関の活動をご紹介したいと思います。第3回目は、日本の自治体の共同組織、自治体国際化協会です。

自治体国際化協会（CLAIR）は日本の地方自治体の共同組織として、「自治体の国際化」を多方面から支援することを目的に1988年に設立されました。自治体の国際戦略・国際業務の総合サポート役として、現在、東京に本部を構えるほか、世界7都市に海外事務所を設置しています。1994年に設立されたシドニー事務所では、豪州・ニュージーランドにおける日本の自治体の活動の支援、姉妹都市交流の推進、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）の促進、地方自治体制度等に関する情報の収集・提供などを行っています。

JETプログラムは30年以上続く世界最大の人的交流プログラムです。2017年度は、JETプログラムを通じて、豪州から351名が日本の学校や役所でALT（外国語指導助手）



NSWから派遣された2017年度JETプログラム参加者とJET同窓生

やCIR（国際交流員）として、日本の各地で活躍しています。

豪州からのJETプログラム参加者総数は4,300名を超え、これは、これまでJETプログラム

に参加者を送った67か国中、アメリカ、イギリス、カナダに次いで4番目に多い人数です。

JETプログラムの任期を終え、豪州に帰国した方々も、JETAA（JETプログラム同窓会組織）等を通じて、日本の架け橋として、活躍してくれています。

当事務所では、姉妹都市交流のサポートも行っていきます。現在、日本と豪州の間には108の姉妹都市があり、豪州から見ると最も姉妹都市が多い国が日本で、日本から見ると豪州は4番目に姉妹都市が多い国になっていま



神保国男戸田市長・Wallerリバプール市長による記念品交換の様子



自治体国際化協会（CLAIR）シドニー事務所
Japan Local Government Centre (CLAIR, Sydney)
Level 12, Challis House, 4 Martin Place, Sydney NSW 2000
ホームページ: www.jlgc.org.au
公式Facebook: www.facebook.com/clair.syd
Email: mailbox@jlgc.org.au
Tel: (02) 9241-5033

す。2017年には、埼玉県戸田市とリバプール市が姉妹都市25周年を迎え、同年10月にはリバプール市において記念式典が開催されました。

また、当事務所は、日本の各自治体の豪州での活動をサポートするため、現地訪問計画や事前準備のお手伝いや訪問時における人的サポート等を行っています。

2017年4月には関西広域の観光PRを行うため、山田啓二京都府知事を団長にした関西広域連合が来豪し、SBSラジオなどのメディア出演のサポートやシドニーでのPRイベントのアテンド等を行いました。



関西広域連合による京都太秦映画村PR@Chatswood

また、当事務所はSmash!やオーバーン桜まつりなど各種イベントにおいて日本の自治体の観光PRも行っています。2017年12月に開催されたMatsuri Japan Festivalでは、山梨県、名古屋市、和歌山県、香川県観光協会及び阪神堺三都市外客誘致実行委員会とともに、ブースを出展しました。様々なイベントにて自治体PRを行っておりますので、当事務所のブースを見かけられた際には、是非お立ち寄りください。

当事務所の活動情報は、事務所公式フェイスブックで随時紹介しております。是非、ご覧ください。



Matsuri Japan Festivalでのブースの様子

お知らせ

～ ICAN ノーベル平和賞受賞記念 ～

2018年ピースボート「おりづるプロジェクト」

オーストラリア各地にて核問題のフォーラム開催



2017年11月、メルボルンに本部を置く核兵器廃絶運動団体「ICAN」が長年の活動実績を認められ、ノーベル平和賞を受賞しました。ICANの共同運営団体であるNGOピースボートは、2008年より広島・長崎の被爆者たちと共に船で世界をめぐる「おりづるプロジェクト」を実施し、これまで95回の就航で170名以上の被爆者による生の被爆者証言を世界各地に発信してきました。

今回、ICANとピースボートの共催により「第96回おりづるプロジェクト・オセアニア一周クルーズ」を実施し、オーストラリア主要都市において核問題に関するフォーラムを開催します。フォーラムには福島原発の被災者やオーストラリア先住民の核実験被災者も参加し、広島の被爆者と共に現代の核問題に関する討議と交流の機会を設けます。

●フォーラムスケジュール(シドニー)

日時:2月5日(月)6～8pm

会場:Redfern Community Centre, Redfern

スピーカー(日英通訳付き)

- ・川崎哲(ピースボート共同代表、ICAN国際運営委員)
- ・三宅信雄(広島原爆被爆者)
- ・長谷川健一・花子(福島県飯館村出身、原発被災者)
- ・カーリーナ・レスター(オーストラリア核実験被爆者二世)
- ・スコット・ラドラム(オーストラリア緑の党前上院議員、ICANオーストラリア名誉大使)

- ・ジェム・ロムルド(ICANオーストラリア・コーディネーター)

参加費: 無料(任意の寄付をお願いします)

予約: www.trybooking.com/TMLE

主催: ICAN(www.icanw.org)

ピースボート(<http://peaceboat.org>)

イベントサイト: www.icanw.org/au/making-waves

問い合わせ: Gem Romuld (ICAN Australia)

Email: gem@icanw.org

Mobile: 0421-955-066

※フォーラム内容は予告なしに変更になる場合もございます。

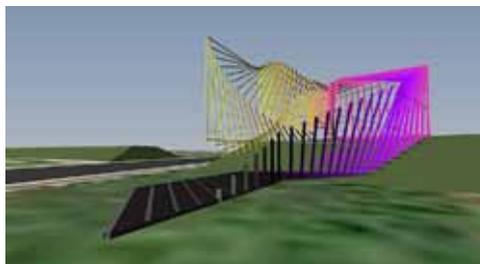
日本再発見



私の故郷の石川県珠洲市は、能登半島の先端に位置し、周囲を日本海に囲まれた農山漁村です。その昔は、遣唐使、北前船など、

かつて日本海を舞台にした海上交易が盛んだった頃は、様々な船が立ち寄りましたが、海運から陸運に交通体系が変化し、1954年に市となった頃は4万人くらいの人口がいましたが、現在は、1万5,000人と典型的な過疎地域となっています。

しかし、この珠洲市内で今年の秋に世界が注目する大企画が執り行われ一躍脚光を浴びました。その企画とは、題して「奥能登国際芸術祭2017」。11の国と地域から39組のアーティストが参加して、珠洲市の至る所でアート作品が展示され、会期中に市の人口のほぼ5倍に匹敵する7万人以上の方が作品を鑑賞され、



入場券だけでも、6,600万円以上を売り上げたという快挙を成し遂げました。

この他、過疎化対策として、ウルトラマラソンやトライアスロン等の

競技大会の招致、珠洲の50の地域で行われる秋のキリコ祭りの宣伝、イベントの時に不足しがちの宿泊施設として、一般の家を改造して旅行者に利用して頂く「民泊(みんぱく)」施設等の増設等々に取り組む人たち、それを応援する人たちの存在を知り、大変勇気付けられたのは、過疎を心配する能登出身者たちではなかったかと思っています。まだまだ田舎も捨てたもんじゃないと思ったことでした。(重)

写真:作品; No.14 トピマス・レーベルガー | Something Else is Possible



みなさんこんにちは、いかがお過ごしでしょうか？
今回で34回目の登場となります。

ところで年が変わりましたね。

この記事が皆さんの目にこうして触れているのは、1月も半ばを過ぎた頃なのでと推測しますが、定型のご挨拶をしたいと思います。

新年、あけましておめでとうございます。本年度もよろしくお願いたします(このコーナー上では家はずいぶん前に落成済みで、現在は落成後の顛末を中心に書いており、厳密には「家を建てよう」というタイトルからは脱線しているので、いつまで本コラムが続くのか分かりませんが…)

「1年の計は元旦にあり」と昔から言われるように、1年の始まりである元旦には初詣に出掛けて願掛けし、これからの1年間の目標を立てたり抱負を述べたりするものなのに、ここオーストラリアって言ったら…みたいなことを毎年エラそうに思いつつ、一方では昼間っからBeerだのワインだの呑んでくれて怠惰に過ごす筆者なのでした。

さて本題、今回は豪華2本立て。

お題その1、下請けの不具合修理屋さん

新居に入居して3カ月が経ち、「90 Days Warranty Period」という保証期間が満了。

5月中旬にBuilderから「何か不具合あったら添付のリストに書き込んで返送してね」というレターが届いたけど、俺らの場合はエクセル管理で100行超えるくらいたくさんあって、すでにState Construction Managerと直談判で進行中。

そこで今回登場したのはBuilderから派遣された下請けさんのPainterとCarpenter。この人たちの仕事がニッポン人も感心するくらいとても丁寧でキレイで、ホントありがたい。

内壁のペイントも、ちょっとしたムラを目立たなくしてくれればいいところを、2度塗りしてくれてるし。「これから2時間は絶対に触らないでね！」と強く念押しされ、緊張を強いられるほど。

さらには「5箇所直すのも10箇所直すのも変わらないから」というお言葉を真に受け、入居後に自分たちが新規作成したひっかきキズまでも、全部修正してくれた(直し漏れのないように青いテープを要修正箇所にペタペタ貼るシステム)。



ホントに感謝しかないです。そしたら仕事が長引いやつたらしく、翌日にも来てもらうことになってしまったのは、申し訳ない…。でも、キミたちの仕事は、とても美しく素晴らしいよ。胴元のBuilderにもちゃんとFeedbackしておくからね。

お題その2、Clothesline。

固定タイプの物干し用ロープを設置することが、建築許可が認可されたときの条件のひとつ。これをClotheslineと呼びます、知ってた？

雨で手持ち無沙汰だったとある日、どんな経緯だったのかよく知らないが、Landscapeの爺さんが嫁さんを誘ってふたりで近所のBunningsまでClotheslineを物色しに出掛けてった。

デートは楽しかったか？って嫁さんに訊いたら、クルマの中はお互い喋ることがなくて気まずい雰囲気になったらしい。初めてのデートでは重い空気が流れる時間は必ず発生する。回を重ねればお互いもうちょっと打ち解けてうまくいくよ。気にするな。

Bunningsでは爺さん、嫁さんを放っぼり出して水を得た魚のように自分の興味あるもの見に行って長い間帰って来なかったんだとさ。LandscapeにとっちゃあーゆーところはWonderlandのようなものなんだろうな。

その日のうちに設置してくれたのが、コレ。



ヘッド部分をボヨンと延ばして対岸のポールに設置されたアタッチメントに引っ掛けて固定すれば、6本の物干し用ロープが出現するという、よくあるヤツ。

こうして着々と生活基盤が整っていくのでありました。

続きは次回…

【第14回】

のど締め、声枯れを改善するには〇〇〇〇発声が効果的

声と、笑顔と、音楽と

●加藤久恵プロフィール

2003年来豪。日本では富山・石川を中心にフリーアナウンサーとして8年の経歴を持つ。現在はローカルのチャイルドケアセンターで働きながら、ボイストレーナー、シンガーとして活動中。(タイトル画像左が筆者)

JCS会員の皆さん、こんにちは。QP☆HoneyのQP、ボイストレーナーの加藤久恵です。

2018年も楽しくてためになる記事を書いて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ボイストレーニング受講生の声の悩みに、「私の声は詰まったように聞こえる。よくノドが痛くなる」というのが多くあります。誤った発声法でノドを痛めるというのは分かるのですが、詰まった声というのはどんな声でしょう？詰まった声と開いた声との違いとは？

例を挙げてみます。

会社で嫌いな上司に、突然やりたくない仕事、あるいは上司がやるはずだった仕事を突然ふられた時のやりとり。

上司:「この書面、今日の昼までに作成してね」

自分:「え〜っ!!」

このような拒絶反応で出てくるイヤイヤ感にあふれた「え〜っ」という音声は、たいていノドを締めて発声していませんか？

ノド締め声を無自覚に、つい習慣で発声し続けると、ノドを痛める原因になります。

これに対して「ノドを開いた声」はとても伸びやかでさわやかな感じが伝わります。

では、どうすればノドを開く声になるのでしょうか？練習法をお伝えしますので、鏡の前でやってみましょう。

まず、「あくび」をしてみましょう。普段あくびをするように、実際に「ふあ〜、あ〜、あ〜」と声を出してみてください。その時の、ノドの奥が広がる感覚を確認してください。

あくびをしながら、鏡の中に写る口の中を覗いてみてください。まず、自分が思っているほど口が開いていないことに気がつきます。思いきり口を大きく開けてみましょう。その状態で「はあ〜っ」と息を吸い込みます。

硬口蓋(こうこうがい)つまり、口の天井の奥の堅いと



ところが、息を吸うとひんやりしませんか？それが、ノドを開いて息を吸った状態です。

次に、舌の位置を確認してください。リラックスした状態であくびをすると、舌根(ぜっこん)が下がってノドの奥が見えるようになります。

声がこもったり擦れる人は、舌が上がってノドの奥が見えない「ノドを締めた声」の状態になっていることが多いのです。

あくびをすることで、ノドの奥が広がります。ノドを閉じた状態では息は吸い込めませんが、あくびをすると、息(空気)を吸い込むために自然とノドが開くのです。(声帯を開くという意味ではありません。)

では最後に、この状態で「アー」「イー」「ウー」「エー」「オー」と、5つの母音を、音を伸ばして発声しましょう。

この練習をすれば、声がこもらずに外に出ていくようになります。ノド締め声を卒業することができますよ。私のレッスンでは必ず最初にあくび発声をし、ノドを開いた状態にしてから声を出していきます。ノドの負担は軽くなり、何よりうまい具合に首や顔の緊張がほぐれるのです。練習を繰り返すことによって、ノドが開いてラクに声が出るようになりますよ。ぜひ、鏡の前でやってみてくださいね。



2017年11月開催以来、連日多くの絵画愛好者を魅了している特別展「レンブラントとオランダ黄金時代」展は2月18日に終了します。まだご覧になっていない方はどうぞお見逃しになりませんよう。今回は2018年展覧会プログラムの中からいくつかをご紹介します。

Coming Exhibitions in 2018

今年の幕開けは1月26日より開催されているHSCビジュアル・アートの優秀作品展「Art Express」です。

2月にはクリュニー・フランス国立中世美術館の至宝「貴婦人と一角獣」The Lady and the Unicorn展が始まります。この作品は「中世のモナリザ」とも言われ、中世ヨーロッパ美術の最高傑作のひとつ。15世紀末のフランドールで織られた6面の大きなタペストリーには美しく着飾った貴婦人が千花模様(ミルフルール)を背景に、ユニ



The lady and the Unicorn
Sight SID66001_MM

コーンと共にいる場面が鮮やかに描かれています。5面には「視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚」と人間の5感が、そして「わが唯一の望み」とある6番目には内的感覚、つまり心、欲望、または意志の寓意が表されているとみられていますが、中世紀末には世俗的な喜び、宮廷風愛の瞑想であるとも理解されていました。この作品がフランス国外に貸し出されることは非常に稀で、過去にはアメリカ(1974)、日本(2013)の2回のみで、今回のNSW美術館での展示は極めて貴重な機会です。

3月になると2年毎に開催される現代美術の国際展「シドニー・ビエンナーレ」が開催されます。21回目の今年の芸術監督は森美術館のチーフ・キュレーター、片岡真美氏です。この芸術祭の芸術監督がアジアから選出されるのは今回が初めてです。今



Mami Kataoka - Biennale of Sydney, Daniel Boud

年のタイトルは「スーパーポジション: 均衡とエンゲージメントのアート (Superposition: Art of Equilibrium and Engagement)」。片岡氏は、「均衡とエンゲージメントという概念を繋げ、現代世界へ向けられた洞察へのメタファーとして、量子力学でいうところの“スーパーポジション(重なり合い)”という考え方をタイトルに借用します」と話しています。世界各国から選ばれたアーティスト70人が、NSW美術館を含む市内7会場にて多様な分野でこのタイトルに取り組みます。

オーストラリアで最も古く権威のある肖像画公募展「アーチボールド」は5月に開催されます。今年で97年目、毎年同時に開催されるウイン賞、サルマン賞と共に注目度、人気の高い展覧会です。これと同じ時期に16世紀チューダー朝時代の作品「ヘンリー8世」(当館所蔵品)とそのヴァーチャル・リアリティ (VR=仮想現実) が展示されます。Anglo-Flemishの工房で制作されたこの作品は、近年、当美術館の修復室にて画材等の詳細にわたる調査、研究、処理などを施して広範囲に修復され、VRとして数十年ぶりに再公開されるものです。最新技術により500年に亘る未曾有の美術史が明らかにさ



Henry VIII with insert of false colour
synchrotron-sourced X-ray fluorescence
data map, Art Gallery of New South Wales
Henry VIII OB4.1962_MM

れていきます。必見の展示です！

今年にはオーストラリア人画家の2つの回顧展があります。

7月には「John Russell Australia's French impressionist」展。19世紀末のヨーロッパで活躍したジョン・ラッセルは、ヴァン・ゴッホ、ロダン、モネ、そしてマティスと、当時の主要画家達と親しい交流を持ち、印象主義に徹底した唯一のオーストラリア人画家ですが、比較的知られていません。この展覧会は40年ぶりの広範囲の探求で、この画家の芸術への新たな見方を与えるものです。また11月の「Tony Tucson abstract sublime」展は、オーストラリアの抽象表現主義アーティストとして、最も初期で最も影響力のあったトニー・タクソンの作品とその偉業を探求する展覧会です。

今年も年間を通して多くの展覧会、催し物が企画されています。美術館のウェブサイト www.artgallery.nsw.gov.au でご覧いただき、ぜひNSW美術館をお楽しみください。

(NSW州立美術館コミュニティーアンバサダー: 森岡薫)

お知らせ: 日本語による館内ハイライトツアーは2月2日から再開します。

アートレビュー

書籍



リピート

乾(いぬい)くるみ
2007年／文春文庫
★★★★★

最後の2行で大どんでん返しがある「イニシエーション・ラブ」の作者、ミステリー界の鬼才、乾くるみの作品。もし、現在の記憶を持ったまま、10カ月前の自分に戻れるとしたら…。この夢のような「リピート」に成功し、人生のやり直しに臨もうとしている10人の男女。だが、彼らの中で、1人、また1人、不審な死を遂げていく…。時間旅行の話ではあるが、すぐ想像できるようなストーリーでは全くない。500ページの長い作品ではあるが、2日間で一気に読んでしまった。スピード感があり、展開も面白く、先が読めない。驚きの結末。読み始める前には全く考えていなかったダークな人間の部分も描かれており、期待を裏切らない作品だ。

Star Wars: The Last Jedi (スターウォーズ:最後のジェダイ)

監督 ライアン・ジョンソン

出演 デイジー・リドレー、マーク・ハミル、キャリー・フィッシャー、ジョン・ボイエガ、アダム・ドライバー

2017年／アメリカ／2時間32分

★★★★★

スターウォーズシリーズのエピソード8。ストーリーは前作に続き、女性ジェダイであるレイアのフォースの発達とジェダイとしての心の成長に焦点が置かれる。レイは、レジスタンスのリーダーとなったレイアの願いを受け、隠れた星の孤島で隠居生活を送るルークに会いに行き、もう一度ジェダイとしてレジスタンスを助けて一緒に戦ってくれるように頼むが…。ルークの苦悩の理由が少しずつ明かされていく一方、レジスタンスはカイロ・レンのファースト・オーダーに根拠地を攻撃され壊滅的な打撃を受ける。登場人物がエピソード6までと異なり、女性やアジア系、アフリカ系、ラテン系など入り乱れて大活躍。ハリウッドのダイバーシティ化もある意味感慨深い。

映画



音楽



Songs of Experience

U2

★★★

イギリスを代表するロックバンドU2の14作目のアルバム。

今回は2014年にリリースされたSongs of Innocenceにつながる意味合いを持つ。前作はパーソナルな内容を多く持ち、レコーディングを進める中、次のアルバムが必要になることがバンドとしてすでに認識されたという。そのさらにパーソナルなこのアルバムはキャッチーなソングよりもMortalityといった深い意味合いを持つ。そんな中でアルバムも比較的静かな曲調が多く、盛り上がりには欠ける。ただYou're the Best Thing About MeやThe Little Things That You Give You Away、Landladyは彼ららしいメロディーの名曲だといえる。このアルバムはビルボードで初登場No.1となっている。またアルバムのカバーではヴォーカルのBonoの息子とギターのエッジの娘が手をつないでいる。



【第178回】 2018戌笑う

新しい年が明けまして、皆さん新たな決意をされていることと思います。2018年の干支は、十二支の11番目である戌。このところペットとしての人気度は、ライバルの猫に追い越された感のある犬ですが、株式相場における「戌笑う」と称される活気ある年として期待が高まっています。事実年頭から、日本ばかりでなく世界同時株高という風が吹き渡っているのは確かなようです。オーストラリアにおいても、平均株価が期待値として待望された6000ドルをあっさり越え、投資信託のユニットプライスも堅調に推移しています。果たして株価が「笑いの止まらない」好調を堅持できるのか、皆さんの資産増大に関わる大きな関心事になりそうです。

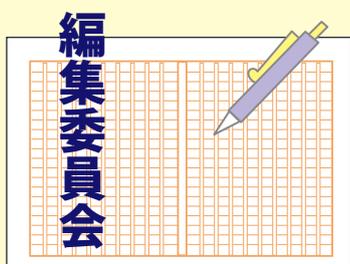
今年の気掛かりな要素として、上記のstock(ST)と並びsecurity(ST)も落とせません。STの包摂する範囲は広範で、軽い怪我から自然災害そして国家間の核戦争に至るまで、身の回りから世界へ注意深い目を向けなければなりません。ここでいう怪我には、1995年1月17日の未明に発生した『阪神淡路大震災』後に注目された、心的外傷後ストレス障害(Posttraumatic Stress Disorder=PTSD)から、統合失調症や躁鬱病等の精神疾患も含まれます。『死に至る病』として哲学的にも考察された『絶望』も、自らを或は他者を殺害する狂気の素因となります。

年明けから犬が笑ったのは、強烈な寒波が北半球を襲

ったのに関連していると見ることもできません。東京で21cmの積雪を記録しニューヨークで真冬が続く等、北極近傍から噴出し猛威をふるう寒気の被害が北半球の各国に広がっています。いま政治問題を含め何かと話題となっている、韓国で開催される冬季オリンピックも、必要量を凌駕する積雪に妨害され、スキージャンプや滑降といった主要種目が中止に追い込まれる不測の事態が起こる可能性もあります。そうなるに炬燵で丸くなっている安穩な猫も、停電で寒くキャッツフードが枯渇する事態も有り得ます。北から流れ込む寒気が強いと、赤道帯を滞留する暖気が南下を余儀なくされ、シドニーが40度の暑気に見舞われ、多発するサイクロンがもたらす被害も要注意。

次にSTで強調したいのが、個人情報の際の無い防衛です。プライバシーの根源である個人情報は、常に危うい状況に曝されていると言えます。例えばクレジットカードのカードナンバーとピンナンバー等々、カード会社や発行元の情報管理を信用して使用していますが、これまでも外部に漏れた事故が多々生じています。もしこれまで大きな損害を受けずに済んできた、これからも信頼できる管理がなされると思いついていたら、危険極まりない過信ですから直ちに改めてください。現状では、誰もが個人情報の漏洩にあっても不思議はありません。情報を守る最上と評価される稀有な暗号であっても、同等乃至上位暗合を作りうる人材は多数おり、まして人知を超える人工知能が加勢したら呆気なく解読され、なまじ難解な暗合故に返し技に苦勞するジレンマに陥ります。ましてデビットカードとなると、あっという間に口座から大金が詐取され、日常生活に支障を来す事態にもなりかねません。

最後に健康へのSTも怠り無く継続しましょう。先ず推奨するのが、大きな負担のかからない『有酸素運動』を続けること。何をするかといえば、一日30～40分の歩行が基本です。今年もお元気で本稿のご愛読を。



2017年度下半期編集委員会を開催

JCSでは、2017年11月30日、市内のレストランにて2017年下半期の編集委員会を行いました。

今回より新しく、2017年の1年間、本誌の表紙を飾った斉藤直子さんが、新編集委員として参加することとなりました。

本誌編集部では随時新委員を募集中です！

また、会員の皆様からの投稿をお待ちしています。身近な話題や会へのご意見など、なんでもお寄せください。



試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子 ● soramame

第84回 季節のマセレーテド・フルーツ

2018年もハッピーな年になりますように♪
真夏に年末年始を迎えるオーストラリア、どうしてもパーティ続きになってしまうので、胃腸もだいぶお疲れですね。弱ったまま秋を迎えると風邪などの体調不良に陥りやすいので、ここで体を立て直しましょう。

今回紹介するのは、フルーツをシロップでマリネするだけの簡単なデザートです。旬のフルーツを食べておくと次の季節の活力になるので、是非お試しを！

【材料】

季節のフルーツ

桃、アプリコット、ネクタリン、ぶどう、
ブルーベリー、レモンスライスなど、
季節のフルーツ合せて 500g

マリネ液 メイプルシロップ 大さじ3
レモン汁 大さじ2

【作り方】

①フルーツは食べやすい大きさにカットして器に入れ、マリネ液の材料を入れてさっと混ぜ、冷蔵庫で1時間味をなじませる。

*好みでシナモンスティックを加えても



マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養生」「正食法」のことです。

穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。

気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au

外食日記



Haji's Biryani House

住所: 158-160 Haldon Street, Lakemba 2195

電話: (02) 9750-3993

営業: 毎日9am~11pm

予算: 20ドル

雰囲気: 7

料理: 8

サービス: 6



インド料理に比べずっと目立たないバングラデシュ料理ですが、スパイスが効いて美味しい料理が多いです。今回ご紹介するのは、シドニー西部のアラビックな街LakembaにあるHaji's Biryani House。

お薦めはビリヤニ(炊き込みご飯)とフィッシュカレーです。ビリヤニの具はマトンがお薦めですが、マトンが苦手であれば他の肉や野菜を選んでも美味しいです。フィッシュカレーの魚は数種類ある中から選ぶことができますが、ルイ(Rui)という魚が脂が乗っていて美味しかったです。辛さは調節できるので、好みの辛さをリクエストしてください。

ラマダン(イスラム教の断食月。2018年は5月15日頃~6月14日頃)の期間は街全体に夜店が出て活気付きます。このお店でも特別メニューが出るので、ラマダンの時期に訪れると珍しい料理が食べられます。(大谷)



仏教語からできた 日本語 その145



渡部重信
Email hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派〔西本願寺〕
オーストラリア開教事務所長

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 132

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

無所得(むしょとく)

オーストラリアは、個人の所得に対する税率が高いと感じている方が多々いらっしゃるのでは、と推察する次第ですが、庶民にとって所得税率は大変気になるところです。しかし、税率が気になるのも所得を得ているからであって、所得のない状態、つまり無所得ではこの物価の高いシドニーでは到底暮らすことはできないでしょう。

この毎日の人並みの生活を送るにはとても耐えられない「無所得」という状態は、実は、仏教では何と大変有難い言葉として紹介されています。

仏教で言うところの「無所得」の語源を辿りますと、古代インドのサンスクリット語のanupalabdhi(アンウパラブディ)がそれにあたります。この言葉は、現代の私たちが考える金銭的利益の無いことを指しているのではなく、仏教における大切な境地であり、教えを指して使われていました。つまり、物に執着したりせず、何事にもとらわれない自由な境地が無所得なのです。

話題は変わりますが、明治の末に、東京浅草に無料宿泊所が産声をあげています。これが実は公共職業安定所の前身となる施設です。地方から「花の東京で一旗挙げてやるぞ！」と夢見て、多くの人たちが東京に流入し始めた頃のことで、無料宿泊所は生まれるべくして生まれた慈善事業の一環として設置されました。かの渋沢栄一のもとにいた足立憲忠の支援を受けて、真宗大谷派の大草慧実という僧侶が始めた事業でした。ここで、注目すべき点は、この宿泊所を利用した人々に仏教の無所得の大切さを説いていたと言うことです。のちに、この施設は政府に引継がれ、現在の公共職業安定所(ハローワーク)になったのですが、その際、この施設で行われていた仏教の無所得の教えを伝えるという伝統が受け継がれなかったようであり、その一点が本当に残念に思われます。しかしながら、この記事をお読みの賢明な読者の皆様には、仏教が高度な福祉思想を持っており、その為の実践思想であることを改めて味わって頂きたく思う次第です。 合掌

Q:昨夜、家内と口論となり、カッとなって顔を平手で引っ叩いてしまいました。怒った妻は警察に通報してしまい、すぐに警察が来て、私は連行されてしまいました。警察には、彼女の顔を平手で叩いたことを含むすべてのいきさつを正直に話しました。数時間後に釈放されましたが、Apprehended Domestic Violence Order及びCourt Attendance Noticeなる書類を渡されました。その後、家には帰りましたが、妻とは口もきいていない状態です。これから、どのようなことになるのでしょうか。

A:まず、警察から渡された2つの書類について説明しましょう。Apprehended Domestic Violence Order (ADVO) とは、被害者に更なる危害を加えたり、ハラスメント、恐喝、ストーキングなどで恐怖感を与えたりすることを禁じる命令書です。このADVOが出された後に更に奥さんに対しADVO違反にあたる行動をとると犯罪になります。つまりADVOの発行それ自体は有罪を意味するものではありません。通常、ADVOには有効期間が設けられます。

次に、Court Attendance Notice (CAN)は、「裁判所への出廷命令」です。恐らく、あなたは奥さんを叩いたことで、傷害(Common Assault)の罪で起訴(Charge)されたものと思われます。CANに示されている日に指定された裁判所に出廷する義務があります。その場合、あなたには二つの選択肢があると思われます。一つは、その場で罪を認め、情状酌量を裁判官に求めることです。もう一つは、無実を主張して裁判で争うということです。刑事事件の場合、検察は、被告人が“疑いの余地なく”その罪を犯したということを立証する責任を負っています。

この場合、あなたは既に警察に対して奥さんの顔を叩いたことを認めており、奥さんもまた、警察にその旨話していると推測されます。この点が非常に不利になるでしょう。しかしながら、裁判において、もし奥さんが出廷しなかったり証言を拒んだ場合、検察は、あなたが“疑いの余地なく”その罪を犯したということを立証するのが難しくなるのも事実です。

罪を認めた場合でも、もしあなたに犯罪歴がなく、自分の犯した罪について深く反省し、十分な情状酌量の余地があると判断された場合には、裁判官は「No Conviction」として、犯罪歴を記録しない判決を下すこともあります。

犯罪歴についてビザ保有者(特に学生ビザ、ワーホリビザ、457ビザ)が最も注意しなければいけないのは、犯罪歴を理由に、移民局によってビザが簡単にキャンセルされてしまうということです。罪の重さによっては、20年以上の永住ビザ保有者であって、且つ配偶者がオーストラリアの国籍を持っていたとしても、そのビザがキャンセルされて日本へ強制送還された例もあります。

暮らしの医療

デング熱 (Dengue fever)

ドクター・鳥居 / Northbridge Family Clinic

デング熱とはフラビウイルス属(flavivirus)のウイルスによっておこる感染症です。アジア、太平洋、アフリカ、中部と南アメリカの熱帯、亜熱帯地域に生息する蚊が媒介となって広がります。1970年頃から急速に増え、現在では100カ国以上で風土化しています。日本脳炎、黄熱、それにジカウイルスもフラビウイルスに属します。デング熱をおこすフラビウイルスには1～4型の4種類があり、ひとつの型で感染しても他の型に対する抗体はできません。2度目に違う型によって感染すると重症になる確率が高まります。

Aedes aegypti と Aedes albopictus という2種類の蚊が媒介昆虫となりますが、オーストラリアではクイーンズランドの一部で生息します。海外で感染した人がオーストラリアに帰国後にこの蚊に刺され、その蚊が媒介となって病気をほかの人に移すこともあり、毎年クイーンズランド北部でデング熱が発症しています。

デング熱の症状

多くの場合、無症状感染で終わりますが、発症した場合、軽度の熱症状から死に至るほどの重症となることもあります。

4日～6日の潜伏期間を経て次のような症状がおこります。

- * 高熱
- * 頭痛
- * 嘔吐
- * 筋肉や関節痛
- * 発疹
- * 鼻血や歯茎の出血

この時点ではインフルエンザなどのウイルス感染やマラリアと症状が似ているのではっきりとした診断はできません。しかし、感染地域への旅行歴があった場合、診断候補として念頭におかなければなりません。約1週間で発熱は治まりますが、重症になる場合、ここから次の症状が現れてきます。

- * デング出血熱(ひどい鼻血、吐血、下血、血尿、月経過多)
- * デングショック症候群(めまい、手足の冷え、排尿量の低下など)
- * 胸水、腹水、多臓器不全

検査

血液中にデングウイルスの核酸を探知するか、このウイルスに対する抗体反応が見られれば診断できます。そのほかに血色素、白血球数、肝機能、腎機能検査なども必要です。

治療

デングウイルスに対して効果のある抗ウイルス薬はまだ開発されていません。重症になった場合は臓器が回復するまでの支持療法しかありません。脱水状態を緩和するための水分や電解質の補給、それに沈痛、解熱剤の服用などです。

なお、アスピリンや消炎剤は出血しやすくなる傾向があるので避けなければなりません。Panadol は安全です。

予防

現時点では一般に使用できる予防接種はまだありません。蚊に刺されないようにすることが第一の予防となります。

デング熱が風土病としておこっている地域に旅行する場合は長袖や長ズボンを着てなるべく皮膚の露出を最小限にし、虫よけのスプレーなども使うようにしておかなければなりません。

Dengvaxiaという予防接種が開発途中で、第Ⅲ相試験という段階に達しています。国際保健機関(WHO=World Health Organization)ではデング熱が風土化している国でのこのワクチンの導入を推奨しているようですが、まだ世界人口全般には第Ⅳ相試験の段階を通過していないので使用されていません。



今月の喜怒哀楽 〈楽〉

JCS創立35周年の今年、年明け早々の1月20日に、キャンベラ日帰りバスツアーに参加しました。(詳細は本誌5ページ参照)このツアーのハイライトは大使公邸の訪問です。素晴らしい石庭のあるお庭が一見の価値ありと聞いていましたし、気さくに話せる草賀大使との再会も楽しみでしたが、なんと！急遽決定したターンブル首相の訪日に合わせて大使も帰国することになり当日は不在に！さらに追い打ちをかけるようにこの日のキャンベラは40度を超す猛暑に！そのため庭園でのモーニングティーは館内に移動となりました。それでも挫けないのがJCSです。猛暑の中、国会議事堂や戦争記念館を巡り、無事ツアーを終えることができました。JCS主催のイベントは数多くあるのですが、どうしても主催者の立場ですし、イベント運営に忙しく動き回るせいで、なかなかゆっくりと参加者の皆さんとお話することができません。でも、今回は皆さんと一日行動を共にすることで、気軽にいろいろなお話ができ、非常に楽しかったのです。それぞれ専門知識をお持ちですし、人生経験も豊富。含蓄のあるお話も聞けて、改めて会員の方の実像を知ることができました。今後もこのような交流の場を持ちたいです。(游)

編集後記

毎月日本に出張しており、東京の相変わらずの大きさとその多様性を感じます。降りる駅それぞれが異なる特色を持ち、各種の文化が交わり、巨大な都市を彩ることによってその個々の統合としての全体が東京の素晴らしいアイデンティティになっているといえるでしょう。そしてその東京が2020年のオリンピックに向けて元気になっています。色々な都市開発の機会にオーストラリアに居住する日本人建築家として光栄にも関わることができています。日本からオーストラリアへのビジネスの機会も今後増えそうです。今後も日本とオーストラリアとの間の懸け橋になればと思います。(Jun)



シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	竹若 敬三(在シドニー日本国総領事)
相談役	Chalker 和子/水野 亮三
会長	水越 有史郎(教育支援委員会代表)
副会長	渡部 重信(事務局・編集委員会編集長)
副会長	平野 由紀子(JCSレインボープロジェクト代表)
理事	多田 将祐
理事	川上 正和
理事	Joannes えみ
理事	光岡 由紀子(JCSレインボープロジェクト幹事)
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Fraser 悦子(コミュニティーネット幹事)
専門理事	Costello 久恵(JCS日本語学校シティ校代表)
専門理事	Cox 由紀子(JCS日本語学校ダングラス校代表)
専門理事	水越 有史郎(JCS日本語学校エッジクリフ校代表)(兼任)
事務局長	藤田 結花(会計・事務局長)
監事	会計監査(岩佐 いずみ/Richter 幸子)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(水越 有史郎) JCSフラアロハ(Gault 良子) ソフトボール部(加藤 雅彦)
編集委員会	編集長(渡部 重信) 編集委員(水越 有史郎/西牟田 佳奈/佐藤 薫/大塚 藤子 林 由紀夫/多田 将祐/マーン 薫/坂口 潤/斉藤 直子)



投稿原稿募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じ

ていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

いずれも原稿は、以下宛に送ってください。

Email: editor@japanclubofsydney.org

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。

www.japanclubofsydney.org

エーブルネット(携帯電話会社)

Suite 29, Level 17, 329 Pitt Street Sydney 2000
Phone: 02-9264-9601

Email: info3@able.net.au WEB: https://able.net.au

①【オーストラリア国内サービス】格安SIMプラン:7GBで月額\$30、10GBで月額\$37。

②【日本向けサービス(日本帰国時に)】オーストラリアで受取り・返却&購入で日本到着後すぐネットが使える。

【日本向けポケットWiFi】2週間以上レンタルすれば、よりお得に!

【日本向けデータSIMカード】ご自身のアンロックされたスマートフォンにSIMを入れれば、日本でそのままネットが使える便利なサービス。

★詳しくは、WEBをご確認ください!

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

E-mail: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる
特典です。ぜひ、ご利用ください。

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。

また、平日2時までに2人以上でご来店の場合20%Off(カットは15%Off)。日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fulloffbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べるうれしい店内在庫約8万点をご用意しています。買取も随時受付中。

このクーポンをご提示のJCS会員の方へ、本・CD・DVDのお買上を5%特別割引いたします。(※セール商品や化粧品など一部除きます。尚、クーポンは原本のみ。コピー不可とさせていただきます。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。

店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント!お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

メルマガを登録して頂いたお客様には、お得な情報を随時お送りいたします。ご来店の際にぜひご登録下さい。(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申し込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

NBCA PTY LTD

Suite 41, Level 1, 45 Chandos Street, St Leonards 2065

Phone: (02) 8007-5363

担当:人材(加藤)、ビザ(山口)、留学(山口)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

Noriko's Hair Salon

Shop 6, Level 1, 25-31 Florence Street, Hornsby 2077

Phone: (02) 8924-5189

http://norikohairsalon.wix.com/hornsby

JCS会員の方のみ、初回全サービスを通常料金より10%OFFとさせていただきます。お支払いの際は「JCSだより」掲載のこの会員特典をご提示ください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org (渡部重信) まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、渡部編集長(editor@japanclubofsydney.org)
または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて
JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 (+ 発送費 \$10) の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) のみです。
- ②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。(Email : jcs@japanclubofsydney.org)
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70 plus Postage \$10, total \$113 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
- (4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(そのまま掲載できるアートワーク)を、
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引があります。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(正しい広告サイズで、読みやすくはっきりと仕上がったアートワークまたはデータ)を、事務局宛に郵送もしくはメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。チラシの同封は、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

●入会金・会費・広告料金のお支払方法●

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。
郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。
お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。
振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156